

Comprehensive Assessment System for Building Environmental Efficiency

# CASBEE札幌



## 重点項目 評価結果

■使用評価マニュアル: CASBEE\_Sapporo2014v1.2

■使用評価ソフト: CASBEE札幌2014(ver.1.3)

1 建物概要		BEE	1.4	BEEランク	B <sup>+</sup>
建物名称	札幌医科大学教育研究施設Ⅲ改築工事	総合評価 ★★★★★			
建物用途	学校				
延床面積	3,417.95 m <sup>2</sup>				

2 重点項目への取り組み		レーダーチャート	
地球温暖化対策	最重点項目 省エネルギー	★★★★★	<p>省エネルギー性能: 5.0 省資源等への取組: 4.0 緑化への取組: 5.0 雪処理: 4.0</p> <p>この建物は特に <b>緑化への取組</b> が優れています</p>
	省資源等	★★★★☆	
	緑化	★★★★★	
	雪処理	★★★★☆	

3. 設計上の配慮事項とCASBEEスコア					
<b>A 省エネルギー</b>				合計	18点 / 24点
Q1 温熱環境	スコア 1.0	LR1	建物外皮の熱負荷抑制	スコア	4.0
Q1 光・視環境	スコア 1.0	LR1	自然エネルギー利用	スコア	2.0
		LR1	設備システムの高効率化	スコア	7.0
		LR1	効率的運用	スコア	3.0
<b>B 省資源等</b>				合計	15点 / 23点
Q2 耐用性・信頼性	スコア 1.0	LR2	非再生性資源の使用量削減	スコア	6.0
Q3 地域性・アメニティへの配慮	スコア 1.0	LR2	汚染物質含有材料の使用回避	スコア	1.0
		LR3	地球温暖化への配慮	スコア	3.0
		LR3	地域環境への配慮	スコア	3.0
<b>C 緑化</b>				合計	10点 / 16点
Q3 生物環境の保全と創出	スコア 2.0	LR3	地域環境への配慮	スコア	2.0
Q3 まちなみ・景観への配慮	スコア 5.0				
Q3 地域性・アメニティへの配慮	スコア 1.0				
<b>D 雪処理</b>				合計	2点 / 3点
Q3 地域性・アメニティへの配慮	スコア 0.0	LR3	地域環境への配慮	スコア	2.0

4 設計上の配慮事項			
<b>A 省エネルギー</b>			
注) 「A: 省エネルギー」に対する配慮事項を簡潔に記載してください。 ・外断熱工法の採用による暖冷房エネルギーの削減 ・ホール吹き抜けを利用した中間期の自然通風取り入れ ・ホール、階段室周りのカーテンウォール採用による自然採光の取り入れ			
<b>B 省資源等</b>		<b>C 緑化</b>	
注) 「B: 省資源等」に対する配慮事項を簡潔に記載してください。 ・外断熱工法、断熱サッシ+Low-Eガラスの採用による長寿命化建物とし、長期的な省資源化を図る		注) 「C: 緑化」に対する配慮事項を簡潔に記載してください。 ・道路境界際に中高木の植栽による憩いの環境創出(別途外構工事)	
<b>D 雪処理</b>			
注) 「D: 雪処理」に対する配慮事項を簡潔に記載してください。 ・地上面は適宜除雪を行う管理体制 ・6階屋上はパ <sup>ラ</sup> ハ <sup>ッ</sup> ト高1.6mとすることで、雪庇防止対策 ・7階屋上はパ <sup>ラ</sup> ハ <sup>ッ</sup> ト高0.8m+斜め笠木にする			

■ CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)  
 ■ Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)  
 ■ 「ライフサイクルCO<sub>2</sub>」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと  
 ■ 評価対象のライフサイクルCO<sub>2</sub>排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される